

平成29年 第1回(平成29年1月25日 開催) 四日市市教育委員会会議の概要について

<議 事>

- 議 案 ・ 四日市市国民体育大会等推進基金条例の制定について【非公開】
 - ・ 工事請負契約の締結について ―中央緑地サッカー場整備工事―【非公開】
- 協 議 ・ 問題解決能力向上のための授業づくりの推進について
 - ・ 学校規模等適正化計画 平成28年度改訂版について【非公開】
- 報 告 ・ 平成28年第1回四日市市教育施策評価委員会視察について
 - ・ 平成29年1月緊急議会報告について
 - ・ 学校給食研究協議会報告について【非公開】
 - ・ 第3次推進計画(平成29年～平成32年度)教育委員会関係分について【非公開】

議事概要

○協議 ・問題解決能力向上のための授業づくりの推進について(担当:教育支援課)

教育委員会では、教員が子どもの問題解決能力向上を意識し、授業改善に取り組めるようにするため、「問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック」を発行しています。今回、ガイドブックを改訂するにあたって、その内容について協議を行いました。

<委員からの主な意見>

- ・ 次期学習指導要領では、アクティブ・ラーニングが大きく位置づけられているが、四日市市の場合は、既にこれまで取り組んできた問題解決能力向上のための5つのプロセスが、アクティブ・ラーニングにつながっていることを明示することで、教員の更なる負担感を軽減できる。それによって、さらにガイドブックを活用し、アクティブ・ラーニングに積極的に取り組む好循環を生むのではないか。
- ・ ガイドブックをもとに、個々の教員がそれぞれ創意工夫して、目の前の子どもたちに合った授業を目指していくことが望まれる。

○協議 ・学校規模等適正化計画 平成28年度改訂版について(担当:教育総務課)

市内の小中学校の学校規模・配置・施設状況などを鑑み、その適正化を目指して策定している「四日市市学校規模等適正化計画」の平成28年度改訂版について協議を行いました。

<委員からの主な意見>

- ・ 今後、地区を超えた適正化を進める際の仕組みづくりとして、今回初めてブロック化による検討という概念が示された。今後のブロック化の進め方については、十分な議論が必要である。
- ・ 適正化の考え方について、小学校と中学校で分けて考えることで整理された。検討対象校(D・E判定校)への対応について、検討会議から出された考え方を踏まえて、教育委員会として議論し、適正化に向けたルールづくりやその共通理解を進めることが重要である。
- ・ 全市的な適正化にむけた議論と並行して、個別の検討対象校(D・E判定校)については、それぞれ個別に課題を整理して対応していくべきである。

○報告 ・学校給食研究協議会報告について(担当:学校教育課)

学校給食研究協議会における検討内容として、小学校給食費の改訂について以下のとおり報告がありました。

[低学年]4,100円→4,400円(255円/1食) [高学年]4,300円→4,600円(265円/1食)

<委員からの主な意見>

- ・ 消費税増税や食材費の急騰等を考えると、給食費の値上げもやむを得ない。事前に保護者に対しては、値上げをしなければならない理由を丁寧に説明する必要がある。

四日市市教育委員会 教育総務課政策グループ

〒510-8601 四日市市諏訪町1-5

電話: 059-354-8237 FAX: 059-354-8308

電子メール: kyouikusoumu@city.yokkaichi.mie.jp